

ベクタラインラベルの自動生成



全ての線を選択して、ラベルを自動生成

ラインのラベルの自動生成操作にはいくつかの先進的な機能があります。街路のように連続した線は、ノードや交わる線によって多数の短い線に分割されることが多く、個々の線要素はラベル表示用に同じ属性値を持ちます。ラベルを自動生成する際、左下図のようにこのような線を一本の線として扱うことも可能です。

ラベルは、線の上か下、または中央に配置することが可能です。ラベルの下をクリップして、線がラベル上を通らないようにすることも出来ます。クリップする距離も設定出来ます。ラベルの下の線をクリップする機能 (Clip Under Label) は結果をプレビュー出来ません。ラベルを追加して、ベクタを再描画した時にのみ結果を確認出来ます。ラベルの基準線をラインに合わせる方法として、直線 (Straight)、スプライン (Spline) または正確 (Exact) の中から選択出来ます。



選択した全ての線のラベルをその属性によって自動結合

ラインのラベルの表示機能

縦位置

- ・上詰め
- ・中央揃え
- ・下詰め

編集

- ・ラインに沿ってラベルをスライドさせる

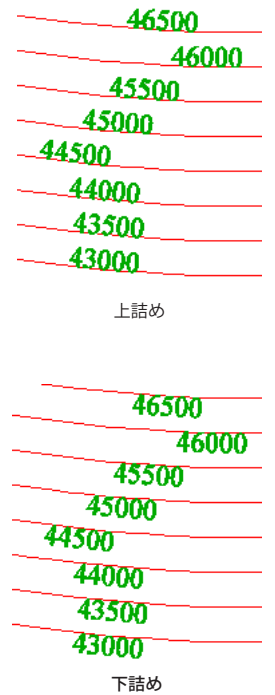
基準線への適合

- ・直線 (Straight)
- ・正確 (Exact)
- ・スプライン (Spline)

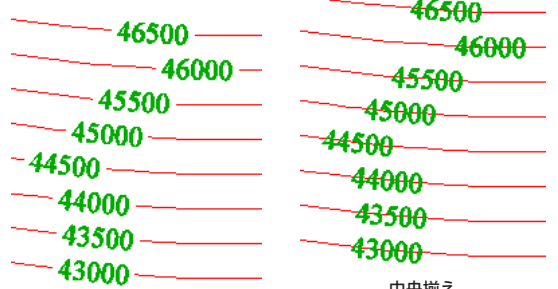
特殊機能

- ・ラベルの下をクリップ (Clip Under Label)
- ・属性によるラインの結合 (Join Lines by Attribute)

縦位置



ラベルの下をクリップ



基準線への適合

